

奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部

平城宮跡発掘調査部では昭和53年10月1日から第113次調査として、平城宮大極殿跡において東西46m、南北26mの土壇を中心に1800㎡について発掘調査を行ない大極殿の基壇および建物の規模を明らかにした。調査は現在継続中である。

1 地形および遺構の概要

土壇周辺の平城宮造営以前の地形は、北から南に緩やかに傾斜する丘陵地である。またすでに実施された北接する内裏地区および東接する地区の発掘調査の結果、この地域に全長116mの前方後円墳（神明野古墳）の存在していたことが判明している。墳丘は平城宮の造営に際して完全に削平されている。今回調査の土壇は前方部南側の周濠上に位置していることが推定されていた。調査が進むにつれて、土壇の南側からは周濠の南縁が、東側からは北縁が検出された。周濠の幅は17~18mあり、基壇は削平された古墳の墳丘部分および周濠の上に築成されていることを確認した。

基壇とその周辺 建物基壇は粘土、粘質土、砂質土を1~5cmの厚さで互層につき固めつつ積み上げられている。現時点では基壇築成の際の掘り込み地業の形跡はみとめられていない。基壇は四面とも部分的に削平されているものの、基壇築成当時の原形を残しており、その規模は東西約45m、南北約23mである。残存基壇高は北側で基壇下の玉石敷面から1.3mを測る。

基壇外構の凝灰岩切り石はほとんど取り外されているが、北面東側階段の西脇には地覆石が原位置を保っている。基壇まわりには地覆石抜取痕跡が廻っており、地覆石、羽目石、床石等に使用されていた凝灰岩切り石片が基壇周辺に散乱している。

基壇に取り付く階段は南面と北面のそれぞれ3ヶ所に設けられている。北面中央階段には、北方建物（大極殿後殿）に連なる軒廊の基壇が取り付けられている。階段規模は南面は削平のため明らかにしえないが、遺存状態の良好な北面の階段では基底部の幅4.5m、長さ3.3mである。東面、西面については、基壇側面が著しく削り取られているため階段の存否は確認しがたいが、少なくとも西面北側には存在していない。

基壇の周囲には当初直径1cm前後の細礫が敷かれ、後、厚さ10cm程粘質土を置いた上に直径5~10cmの自然礫（玉石）を敷きつめている。北面東側階段の延長部分には玉石敷はなく、通路部分として切り石等が敷設されていたとも考えられる。

基壇上の遺構 基壇上に検出した礎石建物は桁行9間、梁行4間の四面廂付東西棟建物である。柱間寸法は桁行、梁行ともに身舎が15尺等間、廂の出が11尺である。また側柱から基壇端までは13尺に復原しうる。礎石は抜き取られているが、礎石据付跡は全て残存しており、根固め石の半数近くは原位置を保っている。

基壇上および基壇周囲からは直径20cm前後の円形柱穴と一辺30~40cmの方形柱穴を多数検出した。それらは柱間の中央通り、棟通りおよび軒先位置に規則的に配されている。方形柱穴は重複関係から円形柱穴よりも新しく、またその柱抜取痕跡からは瓦片、凝灰岩片が出土して

り、礎石抜取痕跡の状況と共通していることから、礎石建物解体にともなう足場穴であると考えられる。一方、円形柱穴は建物建造時の足場であろう。

基壇上西北隅からは、礎石建物と重複する、桁行3間（8尺等間）、梁行2間（9尺等間）の東西棟掘立柱建物を検出した。この建物は礎石建物よりも新しく、造営方位もわずかにふれている。柱掘形は1辺0.8~1.0mの大きさであり、いずれも柱抜取痕跡をもつ。その埋土中からは9世紀中葉の土師器片が出土しており、掘立柱建物の廃絶時期を示している。

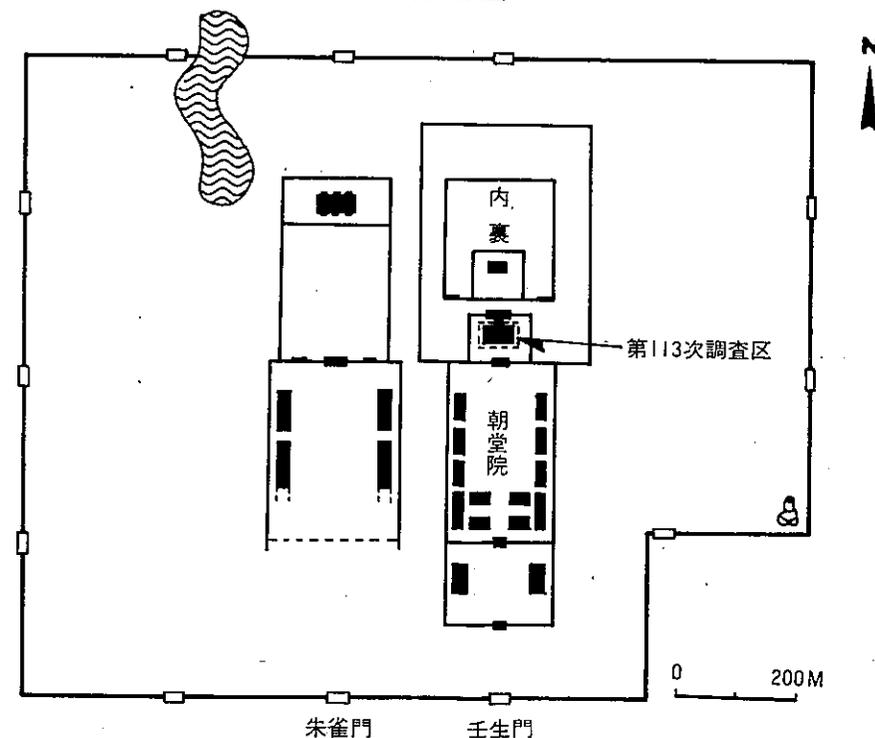
なお、基壇北面の削平された側面において、基壇上面から約20cm下の位置に、柱掘形かとも思われる遺構を3.0~3.6m間隔に3ヶ所検出した。この遺構の性格については現時点では明らかにしがたいが、前身の基壇建物にかかわるものかもしれない。

2 出土遺物

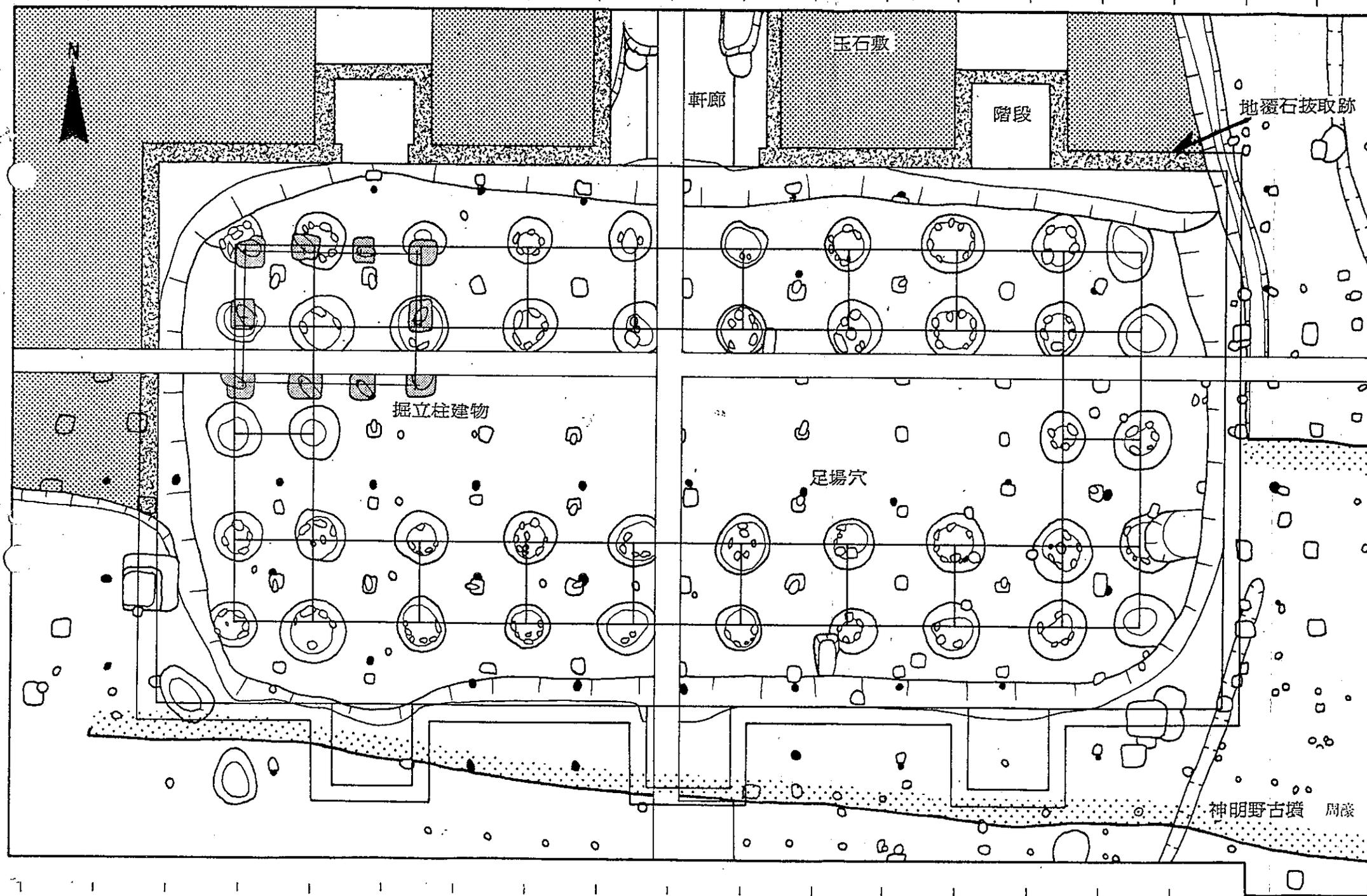
瓦 基壇周囲の玉石敷上および基壇上の礎石抜取痕跡からは多量の瓦が出土しており、完形に近い丸瓦、平瓦も少なくない。軒丸瓦は総数139点で、その大半を占めるのは軒丸瓦6225型式（31点）、軒平瓦6663型式（52点）である。またわずかではあるが平城宮IV（天平宝字元年~神護景雲年間）の軒平瓦6761型式、6801型式も含まれている。その他、鬼瓦、隅木蓋瓦等の道具瓦も出土している。

金属製品その他 基壇東北方の玉石敷面から鉄製刀子が1点出土した。また基壇南側面にうがたれた直径40cmの円形穴から、10世紀後半の土師器杯4点とともに鉄製紡錘車出土している。神明野古墳の周濠部分からはかなりの量の埴輪片が出土している。

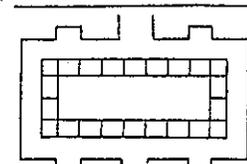
平城宮略図



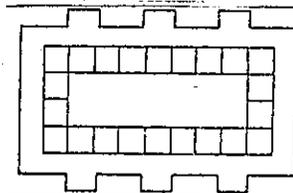
平城宮跡第113次発掘調査 遺構概略図



各宮跡の大極殿および大極殿相当の建物

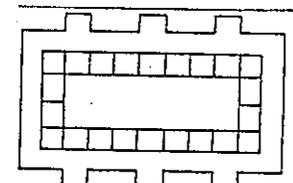


今回調査の大極殿

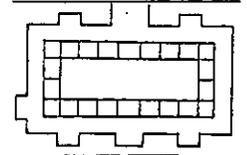


平城宮 SB7200

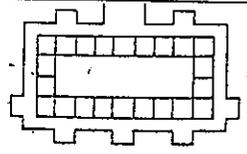
推定



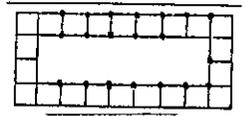
恭仁宮



難波宮



長岡宮



藤原宮

一部推定

